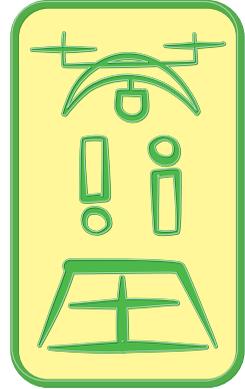




2021
3月5日
13時~17時半
Zoom
要事前登録



農業農村地域における 情報利活用の未来図

AGRI-COCOON ACT133 / STARTS at 13:00 PM 5th March

Future Vision of Information Utilization in Agricultural and Rural Areas

pre-registration required from the QR code. / Language: Japanese

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、地域における新しい生活の価値が見直されつつあります。一方で、スマート農業やスマートビレッジ等、農村地域における通信インフラ整備のニーズが高まっています。しかしながら、農業農村における情報の利活用の具体的なビジョンは描けていないのが現状です。そこで、農業農村工学会・農業農村情報研究部会では「農業農村地域における情報利活用の未来図」を募集しました。この勉強会ではその未来図を持ち寄り、情報を利活用した未来の農村について議論したいと思います。この機会に一緒に夢を描いてみたい方々の参加をお待ちしています。

In the wake of the prevailing of the COVID-19, the value of new way of life in the community is being revised. On the other hand, there are growing needs for the development of communication infrastructure in rural areas, such as smart agriculture and smart villages. However, a concrete vision for the utilization of information in agricultural and rural areas has yet to be formulated. Therefore, the organizer (Agricultural and Rural Information Research Subcommittee of the Japanese Society of Irrigation, Drainage and Rural Engineering) invited proposals for "Future Vision of Information Utilization in Agricultural and Rural Areas."

In this study session, we would like to bring these future plans and discuss the future of rural areas with information utilization. We are looking forward to the participation of those who would like to draw our dreams together in this opportunity.

主催: 農業農村工学会・農業農村情報研究部会

共催: 東京大学アグリコクーン・農学における情報利用研究フォーラムグループ

info: <http://agrinfo.en.a.u-tokyo.ac.jp/meetings/announce-43.htm>

inquiry : office@agc.a.u-tokyo.ac.jp

- 13:00 開会あいさつ
溝口 勝(部会長／東京大学農学生命科学研究科/教授)
- 13:05 来賓あいさつ
未定(農業農村整備情報総合センター ARIC)
- 13:10 報告(発表8分、質疑2分)
- 13:10 (1) 澁谷和樹(明治大学)
機械学習を用いた霜害予測システム
- 13:20 (2) 斎藤広隆(東京農工大学)
深層学習を活用して高精度な植物の3次元モデルを短時間で構築するシステムの開発
- 13:30 (3) 西村和海(東京農工大学)
簡単に扱えるオープンソースAIデバイスの研究
- 13:40 (4) 海津 裕(東京大学)
農業農村におけるIoTの活用を大学生と考える
- 13:50 (5) 西村 拓(東京大学)
中山間畑地地域における水環境保全
- 14:00 (6) 名嘉大助(大阪府立大学)
水管理自動化に向けた低コストな土壌水分多点計測手法の検討
- 14:10 (7) 高岡 新(大阪府立大学)
利水管理の自動化による農業農村地域の持続的な管理と発展
- 14:20 (8) 伊藤良栄(三重大学)
「スマート農業」時代の水管理者支援ツールの開発
- 14:30 (9) 菅野義樹(菅野牧園)
アフターコロナの都市農村交流を通信インフラの利活用により活性化していく手法
- 14:40 (10) 下浦隆裕(奈良県食と農の振興部豊かな食と農の振興課)
オンラインシステム、動画配信システム等による農村地域の魅力情報の発信について
- 14:50 休憩(20分)
- 15:10 (11) 岡島賢治(三重大学)
農地上空はドローン空輸幹線道路!?
- 15:20 (12) 徳本家康(佐賀大学)
アフリカのコメ振興に向けた水田営農システムの遠隔技術支援:
佐賀とカメルーンのデータ駆動型農業の地域実装
- 15:30 (13) 市野梨央・木村匡臣(近畿大学)
農家と消費者がより強く繋がる未来
- 15:40 (14) 繁澤良介(京都大学)
ドローン搭載カメラと定点カメラを用いたウンシュウミカンの樹体ストレス推定手法の開発
- 15:50 (15) 小島悠揮(岐阜大学)
農村Go!による農業農村地域活性化
- 16:00 (16) 繁永幸久(株式会社みどり工学研究所)
簡単設置確認できる水田末端水管理システムの構築
- 16:10 (17) 武藤由子(岩手大学)
土壌水分量データをリアルタイムに生産者・農協・普及員・研究者が共有して
促成アスパラガス栽培における灌水量を検討しよう!
- 16:20 (18) 西脇淳子(茨城大学)
農業農村地域へ広がるマッチングシステム
- 16:30 (19) 畔柳英二(愛知県農林基盤局農地整備課)
通信インフラを活用した灌漑システムの構築
- 16:40 (20) 坪井 充(愛知県農業総合試験場・農業工学研究室)
第3の「GoTo」
- 16:50 総合討論/意見交換
- 17:25 閉会あいさつ
溝口 勝(部会長／東京大学農学生命科学研究科/教授)
- 17:30 Zoom懇親会(各自ご用意ください)